

水戸街道は 高かった



並木中等教育学校
1年 関 梢子さん

子ども郷土研究は、調査、研究を通して郷土の歴史や文化について関心を持ち、郷土「つちうら」への理解を深めることを目的に実施しています。今回は19点の応募作品の中から最優秀賞に選ばれた作品をご紹介します。（一部省略）
作品は2月16日(日)まで上高津貝塚ふるさと歴史の広場で展示しています。

関上高津貝塚ふるさと歴史の広場(☎826・7111)

●研究の動機.....

私は今まで、土浦の水に関する研究をしてきました。今回は、旧市街の水路について調べようと思いました。

また、土浦城が亀城と呼ばれているのは、「水害の時に亀のように浮いて見えた」からと言われています。ということは、一見平坦に見える旧市街にも高低差があるのかと思い、それも研究してみることになりました。

●研究方法.....

- ・関東地方の海岸線の変化をみる。
- ・国土地理院に行つて昔の地図を探す。
- ・昔の絵図を見て水路の位置を確認する。

●資料.....

土浦市史、図説土浦市史、土浦町内物語、土浦歴史地図、国土基本図、古地図

●研究の結果.....

【水の歴史】

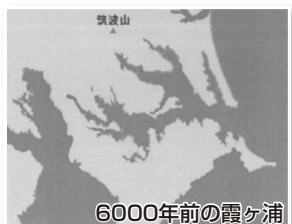
土浦旧市街の水路がなぜできたかを調べるため、まず、土浦の水の歴史を調べました。

◎縄文時代

土浦は低地にあつたため、6000年ほど前は海でした。なぜ分かるかというと、現在高台になっているところに貝塚があるからです。たとえば上高津貝塚の標高は25㍎で、土浦駅前広場は5㍎です。このことから、貝塚のところは海岸線なら土浦市街は海の中だったと言えます。それから次第に海が後退して陸地がでてきます。

◎奈良時代ごろ

石岡の国府への道は現在の6号線



ルートではなく、美浦村付近から霞ヶ浦を渡り、旧出島から石岡へ向かうルートでした。図説土浦の歴史を見ると、土浦の集落といつたら、中城や東崎で周りは流れ海です。

◎平安時代はじめ

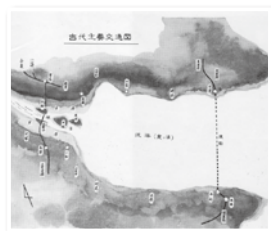
土浦城は平将門がつくつたという伝説があります。しかし、これは伝説にしか過ぎません。なぜかというところ、この頃はまだ水だらけだったと言われるからです。しかし、土浦城を発掘調査したところ、基礎の作り方などから、中世以前のものと分かりました。そうすると、平将門が城を築いたという事もあり得ます。城部分が高台だったのでしょうか。

◎平安時代後半

少し時代が過ぎると源義家が来て、中城でこま市を開いたという伝説があります。この頃は中城辺りにも陸地ができたということでしょうか。

◎鎌倉時代

だんだん西から水が引いてきて、鎌倉街道ができます。鎌倉街道は何本かあります。穴塚のように上流を通るものと田中から高津にでる下流のもので、水が引いていったので、何回かル



トを変えたのだと思います。また鎌倉時代に、「土浦」が初めて文書に出てきます。

◎室町時代

土浦町内物語には1430年頃には若泉三郎が堀を深く掻きあげて、戦国期の水の砦として整備した、と書いてあります。そうしてそこに、町や水路をつくっていき、土浦という町は出来ていったのでしよう。

◎江戸時代

江戸時代に水戸街道が出来ました。そうして、土浦という町は大きくなってきました。大町は遅れて、1725年に出来ました。そして、水路を整備していき、水郷の街が出来たのです。

◎明治時代以降

明治時代、土壘をくずして水路を埋め始めました。大正時代には大町の左右にあった沼も、現在の市役所近くの山を削つて、その土で沼を埋めました。そのことによって、土浦は一時発展しました。しかし、発展していくのと同じ時に、だんだん水路は埋められていきました。昭和の高度経済成長期になると、ほとんど水路は埋められてしまいました。そうして、水郷の形が失われました。

私はこの、埋められてしまった水路の名残を探しに行きました。



「水路あとを探検しよう！」

明治4年の絵図を見て、当時水路があった場所に、行ってきました。今の地図を見ても分かるように、水路は全が残っていません。その水路の跡はちよつと見ただけでは分からないと思います。何か手がかりを探索し探検です。



◎大町

大町には街道の横に、㊶と㊷の水路がありました。水路は道になって同じ形で残っていました。水路だった道は明らかに低くなっていて、家の敷地が高いです。㊸の部分は絵図の水路と同じにやや曲がって道があります。

◎田宿(今の大手町あたり)

㊹の東光寺には土塁の跡がありました。この土塁の外に堀がありました。今は家が建っています。土塁から道路の歩道のところまでが堀の幅でしょうか。

田宿の㊺に行ってみると、家の裏に水路の跡が残っていました。今は普通の排水溝のように見えます。また、表札を見ると、当時と同じ名字の人

が住んでいました。びっくりしました。

㊻の水路は道になっていました。水路の幅は道の幅だったのでしょいか。

㊼のとりかこむような水路は一部しかわかりません。

㊽。土浦小学校は武家屋敷と堀を埋めて作られましたが、堀がどの程度だったのかは地図からはわかりません。でも、歩いていると橋の跡のようなものを見つけました。

また、マンションの横の塀は土塁を支えたものではないでしょうか？

◎中城(中央二丁目のあたり)

㊾。中城には大手堀がありました。どちらとも名残は分かりません。また、中城天満宮の後ろには水路がありました。

のように真ん中を道が抜けています。

◎亀城公園

亀城公園の堀は少ししか残っていません。絵図を見ると二の丸の堀が内堀に繋がられて残っているのがわかります。㊿の門の北側は堀の幅で空き地になっています。

◎本町、中町(中央二丁目あたり)

㊻。大日堂の奥の水路跡には排水溝のような跡があります。南側は大谷石で護岸されていて、小原内科の前に伸びています。北の方へは駐車場の横を通って名残があります。

㊼。ここには囚獄があり、堀で囲まれていました。その東側の道は水路でした。土地よりすいぶん低くなっています。それらの隣にあった清岸寺には当時、水路がありました。跡はよくわかりませんでした。

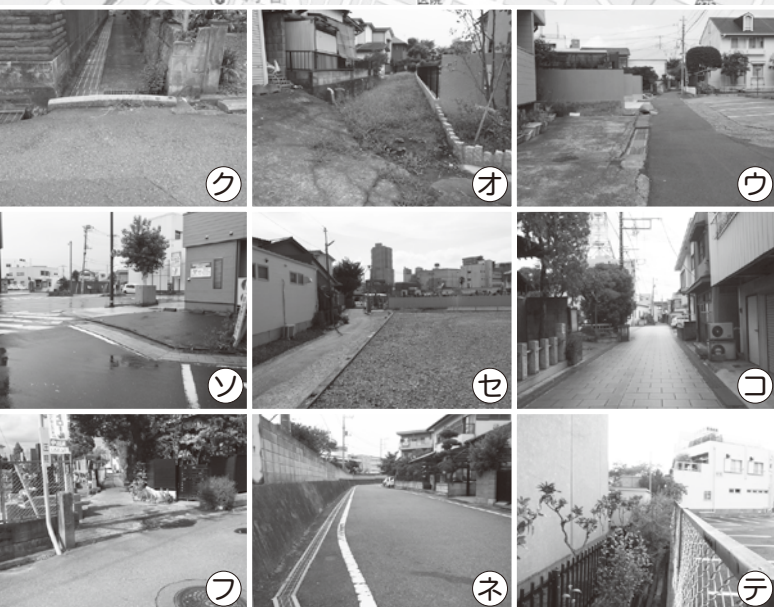
㊽は筑波銀行前ですがなんとなく広い交差点は水路の跡です。

㊾の辺りは何も分かりません。でも、㊿は水路の跡だと思いました。水戸街道側が高くなっているからです。堀の幅で家を建てて道になっているのは土

望ではないでしょうか。

㊿には門がありました。他の門の跡もそうですが、道が斜めに走っています。

㊿の亀城ブラザの裏にあるのは水路の跡だと思いました。でもすぐそばの亀城タクシの前の妙な空き地は別の堀の跡だと思っています。すると、ここは三本の水路(堀が狭い範囲に流れていたこと)になります。



㊿。しかし跡も名残もありません。霞月楼になっていました。また、中城天満宮の敷地は半分になって真ん中を今の道が抜けています。

㊿の琴平神社の裏に排水溝があつて水が流れていました。これが堀の跡だと思いました。また通りよりかなり低いです。絵図ではここが行き止まりですが、天満宮

◎築地(城北町あたり)

築地と言えは築地川です。築地川跡を久しぶりに歩いてみたら、途中は新道になっていました。

◎田町、横町

①。新川の研究の時にきましたが、ここには田町川が流れていました。②では昨年の水路の跡がありました。

③にも水路の跡があり月読神社の裏に続いていました。今でも少し水が流れています。

④。現在の城北町の奥の水路があったと思われるところは、駐車場になっていました。

◎立田から神竜寺

⑤。土浦第二高校の周りには水路がありました。北には川の跡が道になっています。二高の敷地は他より高いです。

⑥の浄真寺の裏には土壘と堀の跡があります。この公園の幅が堀の幅でしょうか。

⑦。ここから南を見ると神竜寺の土壘に立つ木が見えます。一直線に繋がっていたのがよく分かります。

⑧は神竜寺の土壘です。お墓になっています。

⑨は堀の跡ですが、やはり埋めてお墓になっています。お墓になっても残っているのは大事なこともかもしれません。

⑩は水路に蓋がされていますが、堀の曲がり方とそっくりです。橋のあともあります。堀のあとだと思えます。

【高さを計測しよう！】

計測で次のことを調べました。

①町の中心から亀城公園本丸との高低差

②水戸街道と裏通り(水路跡も)との高低差

●計測方法

図のようにスタンドに乗せた水平儀を水平にして溝から向こうの計りたい電柱などを見ます。電柱の目印の高さを向こうに行つて測ります。スタンドの高さは1.5mなのでその差が高低差です。



●計測結果

左の表をご覧ください。場所の数字は下の地図に記入してあります。

場所	旧町	高い所	低い所	高低差
1 来福酒屋前	大町	100	170	70
2 グランドムール後ろ	大町	100	210	110
3 メゾン・ドゥ・エトワール奥	大町	100	150	50
4 大町駐車場	大町	100	180	80
5 等覚寺	田宿	100	146	46
6 沼崎齒科横	田宿	100	140	40
7 三光写真館横	中城	100	120	20
8 中城天満宮横	中城	100	170	70
9 まちかど蔵大徳横	中城	100	150	50
10 琴平神社前	中城	150	230	80
11 琴平神社奥	中城	100	133	33
12 大日堂前	中町	100	210	110
13 凶獄役所跡横	中町	100	160	60
14 凶獄跡	中町	100	170	70
15 旧家具の森内前	中町	100	150	50
16 裁判所前	内西町	100	170	70
17 亀城公園太鼓櫓前石垣	公園内	100	90	10
18 亀城公園太鼓櫓下	公園内	150	260	110
19 亀城本丸地面	公園内			-33
20 亀城プラザ前	前川町	100	253	153
21 妙顕寺前	中町	100	150	50
22 今井食品横奥	築地	100	185	85
23 富士電業社前奥	築地	100	170	70
24 富士電業社前	築地	100	165	65
25 城北ビル前	横町	100	210	110
26 松原商店南	横町	100	0	100

単位はcm

●計測まとめ・気づいたこと

旧水戸街道を中心に計測してきて分かったことは、城を除いたら旧水戸街道が一番高いということです。

明治時代の地図を見ると、堀や水路が城を囲み、それを道が囲んでいます。城はもととも高い所に建てられたのだから分かります。しかし、もととも高いところだけに水戸街道を通すのは不可能なのではないでしょうか？すると道とそれに面する家の分を土盛りしてあることになりました。これは当時大工事だったと思います。つまり道も高いし、工事費も高かった、ということです。それから、昔の絵図には元禄時代の物もあります。それを見ると大町はまだなく、東光寺の土壘の周りに大きな池があります。こんな水浸しの場所に街を築いたわけです。明治になると池はだいぶ小さくなっています。

また、田宿と築地は武家長屋がありました。しかし、水戸街道より低いところがあるので。武士の土地より町人の方が高くなっている、ということです。すると大雨の時は、武家屋敷は浸水しても、町人町は浸水しなかったかも知れません。身分を考えると不思議な感じです。

測ってみよう南側

旧水戸街道から左右の方向に高低差を計りました



測ってみよう北側



【古地図を見てみよう！】

国土地理院で昔の地図を探してみると昭和43年の国土基本図というものを出品してくださいました。この地図を見て、現在と比較してみました。当時は高度経済成長期でこの時残っているのは最後の水路です。

◎大町

この街道の左右にあった水路は、この頃には無くなっていました。

◎田宿

この時代にはやはり、ほとんど埋められていました。しかし、南端にある水路の一部が残っていました。昭和43年にはあったとすると、もちろん、それ以降に埋められたと言つてことです。45年前は両親も生まれています。この時まではあったのに、今は無いなんてショックです。

◎中城

もう水路はありません。今と同じです。

◎亀城公園

今と変わりありません。

◎本町、中町

築地川(田町川)が流れています。

◎築地

この頃にはまだ、築地川が残っていました。しかし、築地川だけで、他の水路はもうありませんでした。今回調べた細い水路跡は地図にはのっていないので、築地川があるということとはそこへの水流もあったかもしれません。

◎立田、神竜寺付近

一番変化が大きい所は二高の前で

す。現在家になっているところには、池がありました。道も広がっているのに池の半分は道路かもしれません。また、当時の二高の前の道も細く、絵図にあるように水路がかかれています。ですから、この45年、いや、それ以下の年月で劇的に変化したと言つて事です。二高の裏の能西寺川から浄真寺裏の堀もまだあります。流れを示す矢印も書いてあります。また神竜寺東の水路も流れが書いてあります。この水路は今も水があります。



【まとめ・感想】

◎名残は排水路だった？……………

「明治に土浦の人は堀を埋めて家を建ててしまった」ということを聞いたことがあります。昨年、新川の研究でそれが分かりましたが、他の地域でも本当なんだと思いました。

堀は土塁を壊して埋めたと言つた内物語に書いてありました。それで土塁も水路もきれいなさっぱり無くなったわけです。

また武家長屋の跡などを見てみると、とても敷地が狭いと思いました。また、ぎゅうぎゅうに家が詰めてあります。一軒



分の間口は今も残っていました。水路と水路の間隔も狭かったことがわかります。

しかし、昭和以前は細くても水路の名残が残っていました。なぜかというと、全て埋めてしまうと、家の排水が流せなくなってしまうからではないでしょうか。でも、下水道が整備されてくると排水路も必要なくなり、埋めていってしまったのです。しかし、一部現在でも排水路として使っているものもあります。ですから、探検の時に見つけやすかったし、昔の名残が残っていて嬉しくなりました。

◎今の街にも高低差？……………

大町では裏道の水路の跡の高さと新しい土地の高さが同じです。市街地全部を測ったわけではありませんが、今も江戸時代の土地の高さが中心になっているのかと思いました。

最後に、築地川のように、最近になって埋められた水路もたくさんあります。今回になってやっと、このような昔の名残が残っていることの大切さが分かったような気がします。小学二年生の時でも書いたように、水路の痕跡を守っていきたいと思います。

■最優秀賞

水戸街道は高かった

県立並木中等教育学校 (1年)

関 梢子 (土浦市在住)

■優秀賞

江戸のなごり(三高津村)

下 高 津 小 (5年)

関 望雲

出発！手野町たんけんたい

上大津西小 (3年)

飯泉 瑠璃
榎本 圭泰
圓城寺 楓
小野 千聡
木曾 義陽
木村 緩香
塚本 麗奈
藤沼 雨楽

橋があるのに川がない!?
～消えた水路と土浦の移り変わり～

真 鍋 小 (5年)

大山 颯介

■優良賞

ツェッペリンが結んだ絆

神 立 小 (6年)

勝田 瑛介

つくばりんりんロードについて

山 ノ 荘 小 (2年)

萩島 咲和
萩島 桃花

発見！土浦じょうゆかりのたて物

土 浦 小 (3年)

菊地 郁帆
栗原 佐和

■努力賞

お盆と佐野子の盆綱

穴 塚 小 (6年)

岩瀬 大河
宮澤 秀彰

■学校賞／神立小学校